

令和3年度 山梨県立韮崎学校(定時制)評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	自ら学ぶ態度の育成 体力と気力の充実 全人的な人格の形成
本年度の重点目標	<p>1 指導内容の精選、指導方法の工夫・改善に努め、基礎学力の定着を図るとともに、学び直しを通して学ぶ意欲を喚起し、進路実現につながるよう一人ひとりの能力を引き出す。</p> <p>2 基本的な生活習慣の確立を図り、自律の精神と規範意識を高めるように努め、心身ともに健康な生活の保持や身の回りの安全確保に努める態度を養う。</p> <p>3 体験活動を通して自己有用感を高め、勤労の大切さと自らの生き方について自覚させるとともに、学校生活の中で人とのかかわり合う力を養い、活力ある社会の担い手を育てる。また、一人ひとりが相互に尊重し合い、いのちを大切にすることを育む。</p>
達成度	<p>A ほぼ達成できた。(8割以上)</p> <p>B 概ね達成できた。(6割以上)</p> <p>C 不十分である。(4割以上)</p> <p>D 達成できなかった。(4割以下)</p>

山梨県立韮崎高等学校校長 今村 勇二

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価			自己評価(12月現在)			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と今後の課題・改善策
1	<教務><研修> 読書計算などの基礎的基本的事項の定着を図り、学びの習慣づくりに取り組む。	① 入学時に不足している学習を補い、卒業時に求められる学習目標に到達させるために、教育課程や指導方法の改善・工夫を図る。	教育課程の改善 少人数授業の実施 指導方法の工夫	平成31年度より新たに育課程を編成し、卒業時に求められる学習目標に到達させるために、学校設科目キャリアA/Bを開講し現在も生徒が受講している。	A	シラバスの評価・改善と活用を適切に行う。 個に応じたきめ細かい指導を行う。
		② 授業力・指導力の向上を目指した校内での相互の授業参観や研修会を行う。	相互授業参観期間の設定 (授業参観回数1-2回) 各教科研究授業実施	本年度、コロナの関係で授業公開は中止となった。	B	次年度は、研究授業および授業公開中の参観を引き続き行う。保護者への周知をはかる。
		③ 授業の中で取得可能な資格を積極的に受験させ、個々に応じた目標を立てさせ、学力伸長の自己確認の機会を与える。	家庭科被服製作技術検定合格数、 食物調理技術検定合格数等	家庭科被服製作技術検定4級合格 13人 家庭科食物調理技術検定4級合格 16人 ITパスポート合格 1人	B	資格取得が進学・就職に有利な場合や修得単位の増加になることを周知する。
		④ 各教科の授業での言語活動を通して、コミュニケーション能力を育成する。	生徒の発表機会を増やすなど 工夫	各教科で取り組み、授業公開で実践した。 本年度、コロナの関係で授業公開は中止となった。	B	授業内容や評価方法は教科内で検討・工夫する。
		⑤ 授業の始業時間を守らせ、積極的に取り組む姿勢を育てる。家庭学習の習慣を培うため、適切な量の課題を与える。	始業時間に授業を開始する	始業時間を守らせるは、クラス担任・各教科担当の指導により概ね定着してきた。課題についても各教科で工夫している。	A	始業時間をいかに守ることを継続し、習慣化させるには先生方の継続的な指導が必要だと思われる。また課題についても工夫していく必要がある。
		⑥ 働き方改革定時退校を心がけ超過勤務時間を月45時間以内とする。	出勤記録を確認	今年度は全ての教員が、超過勤務時間45時間を超える月がない状態で、長時間勤務者はいない。	A	超過勤務だけでなく、きずなの日・定時退校日の設定、年休取得の推進、教職員のメンタルヘルスのケアなど、総合的に取り組んでいく。
1	<情報><総務> 学校の情報を保護者や地域に積極的に公開し学校外からの理解や協力が得られるように努める。	① 授業公開を行い、保護者が学校の様子を知る機会を設ける。また、ブログ等を活用し、生徒への連絡とともに学校情報の発信を行い、地域にも学校の状況を積極的に伝える場を持つ。	ブログの更新、保護者地域への授業公開	・保護者への連絡手段のインフラを確立した。 ・新HPへの情報発信を随時行った。 ・Teamsを活用し生徒への情報発信、教材の提示等を実施した。 ・GIGA端末の配布に伴い校内での利用形態を整備した。 ・生徒のアカウントの管理やGIGA端末の運用管理を行った。	B	本年度はHPだけでなく他の通信方法も整備できた。個々の端末の利用状況や通信環境、アカウントやパスワードの管理等は利用者依存になるので完全には網羅しきれない部分もあり、いくつかの手段を併用する必要がある。
		② 中学校の教員に対して学校説明会を実施する。また希望する中学生・保護者には学校見学の機会を持ち、本校の様子が具体的に伝わるよう努める。	学校説明会への参加者数及び授業見学者数の増加の程度	・先生方が必要な情報を発信したり授業での活用ができるようになるために必要なスキルを身に付けるための研修会を計画し実施した。 ・生徒が情報機器を介して必要な情報を発信したりリモート授業等で教材等を授受する際のスキルを身に付けるとともに、ネットやメールを守って情報化社会を生き抜くための研修会を計画し実施した。	B	・遠隔授業が必要になった際は端末の準備とともに各家庭での通信環境が整備されていないと厳しい。登校時には学校の通信環境への接続が必要だが多種多様なBYOD端末の接続設定など技術的な課題も大きい。 ・個人情報保護の観点から、著作権の問題、ネット利用時のマナーやモラルなど生徒に対して必要な情報教育の課題も大きい。
		③ 卒業後の自己の進路について具体的な考え、実現に向け、積極的な見学、情報収集など自発的に行動できるよう、ハローワーク等と連携して早期かつ丁寧な指導する。	進路学習年間計画立案、進路希望調査を基に三者懇談、三者懇談の計画的実施	全学年進路希望調査済み、3・4年生対象にH/Wジョブサポーターによる就職ガイダンス、ライセンスアカデミー主催の進路ガイダンスを計画・前半実施後半中止。	B	3・4年生対象の就職進路ガイダンスを通し、より早期に個々の生徒に進路への取り組みができた。1・2年生に関しては、確実な進路実現に向け、個々の進路希望に合った指導をするため、早期に進路選択をする必要がある。
		④ 介護、看護体験、職場体験などの情報を提供するに留まらず、HR担任を通じて積極的に参加を促す。	生徒の実態に応じた講演会の持ち方、ガイダンスの時期や内容の綿密な計画、職場見学の場所の検討と立案。	卒業予定生を対象に職場見学(本年は2社のみ)を計画・実施済み。1～3年生を対象に進学及び就職のための進路ガイダンスをⅢ部構成で計画したが中止。	B	卒業予定生には2社の職場見学をし、就労の意義や心構え等について学べる良い機会となった。新型コロナウイルスの制限の中ではあるが、各種進路行事へ生徒・保護者の意識を高める必要がある。
2	<生徒指導>規則正しい生活習慣を確立させるとともに、規範意識を向上させ、規律を遵守する良い学校づくりに取り組む。	① LHR等で生徒一人ひとりに計画的な進路学習、個別面談による丁寧な進路指導②計画的な進路学習への取り組み③進路決定にかかわる情報の提供④保護者及び担任との綿密な連携	進路学習年間計画立案、進路希望調査を基に三者懇談、三者懇談の計画的実施	卒業予定生を対象に職場見学(本年は2社のみ)を計画・実施済み。1～3年生を対象に進学及び就職のための進路ガイダンスをⅢ部構成で計画したが中止。	A	2回の模擬面接に加え、就職試験日に合わせて校内職員による面接指導を重ねた結果、就職希望者は全員内定を得た。進路希望者も指定推薦をはじめ全員第一希望で合格した。
		② 講演会・職場見学などを計画的に行い、進路決定に関する有効な情報を生徒や保護者に積極的に提供し、ガイダンス機能の向上を図ると共に、保護者の参観も案内する。	生徒の実態に応じた講演会の持ち方、ガイダンスの時期や内容の綿密な計画、職場見学の場所の検討と立案。	卒業予定生を対象に職場見学(本年は2社のみ)を計画・実施済み。1～3年生を対象に進学及び就職のための進路ガイダンスをⅢ部構成で計画したが中止。	A	就職希望者は事前の職場見学を勧めたことで、自分に適性の職種を選びができた。一般常識等の試験対策は時間を要するが、2・3年生の段階から積極的に取り組む必要を感じた。
		③ 卒業後の自己の進路について具体的な考え、実現に向け、積極的な見学、情報収集など自発的に行動できるよう、ハローワーク等と連携して早期かつ丁寧な指導する。	進路学習、面接指導・小論文指導の充実、H/Wなどのサポート事業の有効活用、進路希望調査票及び進路情報調査票	卒業予定生を対象に職場見学(本年は2社のみ)を計画・実施済み。1～3年生を対象に進学及び就職のための進路ガイダンスをⅢ部構成で計画したが中止。	A	就職希望者は事前の職場見学を勧めたことで、自分に適性の職種を選びができた。一般常識等の試験対策は時間を要するが、2・3年生の段階から積極的に取り組む必要を感じた。
		④ 介護、看護体験、職場体験などの情報を提供するに留まらず、HR担任を通じて積極的に参加を促す。	生徒の実態に応じた講演会の持ち方、ガイダンスの時期や内容の綿密な計画、職場見学の場所の検討と立案。	卒業予定生を対象に職場見学(本年は2社のみ)を計画・実施済み。1～3年生を対象に進学及び就職のための進路ガイダンスをⅢ部構成で計画したが中止。	A	就職希望者は事前の職場見学を勧めたことで、自分に適性の職種を選びができた。一般常識等の試験対策は時間を要するが、2・3年生の段階から積極的に取り組む必要を感じた。
2	<保健環境> 健康な心と身体づくり、施設設備の安全確保と学習環境の整備に取り組む。	① 保健だより・連絡系・掲示等で健康に関する情報を伝え、感染症対策や自己の健康を自分で管理するという健康意識の啓発を図る。	保健室と連携し健康に関する情報提供や、備品の設置	自己の健康を自分で管理するという健康意識の啓発を図るために、全日制の健康観察と連携を密にして、保健だより全日制と共通に指導できる内容を頂くと、関連機関からの必要な情報をHRを通して生徒に伝えていく。	B	専門的なケアが必要な場合は全日制の健康観察に依頼している。精神科を受診している生徒も多い。家庭の状況が厳しい生徒も多いので、規則正しい生活の大切さや、健康管理の大切さなど、本人たちの意識の啓発について続けて指導していきたい。
		② 月に1度の頭髪、服装検査を実施し、進時高校の生徒に相応しい身だしなみや制服の正しい着用を指導する。	月1回、全職員による服装、頭髪検査の実施	月に1度の頭髪服装検査では教員の指導に良く従い頭髪を期限までに直すことができた。清掃時間は短時間ではあるが、しっかり行っている。	B	あいさつや授業態度、携帯の正しい使い方を指導する。
		③ 定期的な駅前、学校周辺パトロールを実施し、時間や社会の規範を遵守する指導を徹底強く行う。	昼休み時、学校周辺・駅前での週1回実施	社会の規範やルールを守るべく意識高く持ちまなを守りねばり強く指導をし行動をとることができた。	B	他人に迷惑をかけない生活の仕方や、高校生らしい他者に好かれる方法などを模索し生活するよう心がける。
3	<特別支援> 校内研修を実施してスキル向上に取り組む。校内外の支援体制の整備、適宜外部機関との連携による、生徒の実態やニーズに寄り添ったきめ細かな指導に取り組む。	① 保健だより・連絡系・掲示等で健康に関する情報を伝え、感染症対策や自己の健康を自分で管理するという健康意識の啓発を図る。	保健室と連携し健康に関する情報提供や、備品の設置	自己の健康を自分で管理するという健康意識の啓発を図るために、全日制の健康観察と連携を密にして、保健だより全日制と共通に指導できる内容を頂くと、関連機関からの必要な情報をHRを通して生徒に伝えていく。	B	感染症対策が浸透してきて、手指消毒の実践や検定の動行は徹底されている。しかし、感染状況の悪化に伴い、生徒の不安感の高まりも見られ、長引くパンデミックの心身への影響も懸念される。次年度もスクールカウンセラーの定期的な面談実施が望まれる。
		② 校内美化に努め、さわやかな学習環境づくりを推進するとともに、施設設備の安全点検を行う。	清掃・除菌の徹底、ゴミの分別の徹底、安全点検	清掃時の除菌作業が定着し、通常清掃と並行して効率よく作業を実施できている。飛沫付着ゴミの密閉廃棄も実践され、適切なゴミ処理を行っている。安全点検を経て、経年劣化した備品を交換した。	B	除菌活動も含めた新しい校内美化活動が定着してきた。備品類の整備も進み、一斉清掃での美化活動も推進された。生徒数が少ないが、計画的な校内美化活動の継続が求められる。
		③ 体育などの教科指導や特別活動とおとして体力・運動能力の向上に努める。	総合的な学習(探究)の時間などの学習活動の充実	感染症対策の中でスポーツを楽しむ、心身のバランスや健康の維持、向上をするよう教科で指導が行われた。継続的に編成による種目別活動もあり、スポーツを通して校内の生徒間交流も図られた。	B	長引く感染症関連の社会的影響で、生徒が多量なストレスを抱えている。身体を動かして、他者との交流を通して心身の健全性を高める機会を定期的に提供することが必要である。
3	<防災> 防災教育を通して生命尊重の精神を育む。	① 一人ひとりの生徒の悩みや相談に適切に対応するための体制の整備に努める。	養護教諭・スクールカウンセラー・特別支援学校教員、関係機関との連携による生徒支援の充実	・今年度は8月に湖東史先生を講師に招き「生徒の特性や病理解の理解」と題した研修会を実施し、教員のスキルアップに努めた。 ・スクールカウンセラーを必要とする生徒・保護者に有効に活用できた。 ・病理等を抱えた生徒について適宜必要な医療機関との連携を図った。	B	入学してからの生徒の背景は様々であり、年々多様化深刻化し、現状の支援体制には十分とは言えない。専任の養護教諭の常駐など抜本的な改善が必要である。
		② 定通随上大会や定通総合体育大会への参加・出場を通じて各種目のスポーツに親しむ各々の技術を向上させる。また、全国大会出場など達成感やチームや集団としての連帯感を醸成する。	定通随上大会や定通総合体育大会への参加・出場を通じて各種目のスポーツに親しむ各々の技術を向上させる。また、全国大会出場など達成感やチームや集団としての連帯感を醸成する。	通常の避難訓練に加え、生徒に予告無しの避難訓練を実施した。また隔年で実施している防災教育はコロナの影響で起震車体験、煙体験、水消火器体験等はできなかったが、代わりにTV放映された火災や土砂崩れの番組を視聴し、防災意識の向上に努めた。	B	防災意識の向上には実体験が必要であり、今後も関係機関と対応準備を進めたい。また、避難訓練についてもさらに一歩進め、より有効な方法で実施したい。
		③ 新入生歓迎会や学園祭、予選会など学校行事の中心的な機会を定通随上大会や定通総合体育大会の開催を機に、様々な学校行事の機会の中で、各々の生徒が自ら考え、自己の可能性や自分が必要とされる「場」を発見出来る体験作りに取り組む。	個々の適性や能力、心理的・精神的な成長などを見極めた上での丁寧な指導。失敗を恐れず、積極的に活動出来る寛容な集団の支援・組織作り	新入生歓迎会・生徒総会、teamsを使いオンラインで開催された。重業祭は、一か月延期・縮小開催された。コロナ感染症対策をし、生徒会役員を中心に生徒会活動を充実させることができた。	B	コロナ禍、生徒自ら感染状況によって学校行事を臨機応変に実施し、延期や中止を話し合い考えながら求められる。また、実施される生徒会行事において十分な感染予防対策を行う。
3	<生徒会> 学校生活を充実した楽しいものにするため、様々な学校行事の機会の中で、各々の生徒が自ら考え、自己の可能性や自分が必要とされる「場」を発見出来る体験作りに取り組む。	① 新入生歓迎会や学園祭、予選会など学校行事の中心的な機会を定通随上大会や定通総合体育大会の開催を機に、様々な学校行事の機会の中で、各々の生徒が自ら考え、自己の可能性や自分が必要とされる「場」を発見出来る体験作りに取り組む。	個々の適性や能力、心理的・精神的な成長などを見極めた上での丁寧な指導。失敗を恐れず、積極的に活動出来る寛容な集団の支援・組織作り	新入生歓迎会・生徒総会、teamsを使いオンラインで開催された。重業祭は、一か月延期・縮小開催された。コロナ感染症対策をし、生徒会役員を中心に生徒会活動を充実させることができた。	B	コロナ禍、生徒自ら感染状況によって学校行事を臨機応変に実施し、延期や中止を話し合い考えながら求められる。また、実施される生徒会行事において十分な感染予防対策を行う。
		② 定通随上大会や定通総合体育大会への参加・出場を通じて各種目のスポーツに親しむ各々の技術を向上させる。また、全国大会出場など達成感やチームや集団としての連帯感を醸成する。	定通随上大会や定通総合体育大会への参加・出場を通じて各種目のスポーツに親しむ各々の技術を向上させる。また、全国大会出場など達成感やチームや集団としての連帯感を醸成する。	通常の避難訓練に加え、生徒に予告無しの避難訓練を実施した。また隔年で実施している防災教育はコロナの影響で起震車体験、煙体験、水消火器体験等はできなかったが、代わりにTV放映された火災や土砂崩れの番組を視聴し、防災意識の向上に努めた。	B	防災意識の向上には実体験が必要であり、今後も関係機関と対応準備を進めたい。また、避難訓練についてもさらに一歩進め、より有効な方法で実施したい。

学校関係者評価	
実施日(令和4年3月9日)	
評価	意見・要望等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生徒に基礎的学習への取り組みがなされていると思います。 ・漠然とした社会人としての知識を得るためにぜひ積極的に取り組んでほしい。 ・学習に対する基本姿勢が身につけていない生徒に学びの定着を図るのに大変苦労されている中で苦勞されたことがうかがえます。予定された指導計画が十分実施されなかったことはやむを得ないと思います。その中で、生徒一人一人を大事に考えた指導が実践されたと思います。様々な問題を抱えた生徒に合わせた指導は大変な苦勞があると思いますが、地道に基本を大切に頑張ってください。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で情報発信するのに工夫が必要だったことと思います。更に情報発信を行ってください。 ・きめ細かい生徒への対応や授業実践を広く周知・情報発信は大切だと思います。参加型の機会がコロナの状況で難しいですが、チャンスが来たときに積極的に開講したら良いと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細やかな指導の実践、生徒との個々の対応等の苦勞がうかがえます。進学・就職も達成されている。 ・コロナ禍の中いろいろ工夫されて保護者に情報提供していただき、進路に関しては、職場見学や講師を招いてのガイダンスなどを実施し、良い結果が得られていることから先生方の努力が伺い知れます。 ・先生方が多様な方策を継続的に実践して、進路実現を図っていることに敬意を表します。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出るにあたり、生徒指導はとても大切であり、ここの何年定時制生徒が駅前までラブラブしているのを見かけない。制服も正しく切られていてとても気持ちがいいです。 ・不規則な生活、生活習慣の中で過ごしてきた生徒が多い中で成果を得るのは大変だと思いますが、ほんの一步でも前進できるように応援してやってください。 ・全職員による登校時の声掛けはとても良いことです。継続してほしい。 ・可能な限り生徒一人一人の特性を考慮して、教員間の共通理解と保護者との連携を深めて指導して先生方の努力の跡がうかがえます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策が浸透してきていることはタイヘンと思う。 ・閉塞感のある中で心身のバランスを崩しやすいので、スクールカウンセラーの支援が受けられるのはよいことだと思います。 ・健康管理の難しい生徒もいると思いますので、本筋のことを振り返り地道にどうするかと思いますが、頑張ってください。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・心身のコントロールを安定させる指導が実践されている。 ・専門家の協力を得ながら今後も継続して欲しい。 ・精神的に不安定な生徒の指導は、苦勞があると思いますが、外部機関の支援を最大限に生かして継続して欲しいと思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣と大きく関連している中で、危機防災管理の意識向上が見られる。 ・防災教育を工夫して行われていたと思います。今後も継続実施を行ってください。 ・コロナ禍で十分な訓練指導が出来なかったことは致し方ないと思います。危機管理は基本的な実践活動を繰り返す、常に反復できるようにしておく事が大切だと思います。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・総体等でのよい成果を納めたことは立派だと思います。 ・主体的な行動を促していること評価です。 ・コロナ禍で十分な訓練指導が出来なかったことは致し方ないと思います。

※(1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。